

さがみはら 子ども・若者応援プラン成果指標に係るアンケート調査業務委託仕様書

1 件名

さがみはら 子ども・若者応援プラン成果指標に係るアンケート調査業務委託

2 調査目的

令和6年度に策定した「さがみはら 子ども・若者応援プラン」の推進に当たり、当該計画に定める各基本目標の成果指標について、子育て家庭等を対象としたアンケート調査を行い、計画の進行状況や各取組及び事業に対する市民のニーズ等を把握することを目的とする。

3 調査方法

調査対象者に、アンケート調査票及び返信用封筒を送付する。また、調査票にはインターネット回答用の案内文、URL、二次元コードを併記し、インターネットからも回答ができるようにする。詳細は、「5 調査対象及び送付数等」のとおり。

4 スケジュール

令和8年2月上旬	～	アンケート調査票等の作成
2月上旬		アンケート調査票等発送（3月上旬回答期限）
3月上旬	～	集計
3月		報告書作成、納品

5 調査対象及び送付数等

	アンケート対象者	質問数 (回答者の属性に係る質問を含む)	送付数
1	乳幼児の保護者	最大 30 問程度	最大 2,000
2	子どもがいる保護者	最大 30 問程度	最大 2,000
3	子ども(6～12 歳)	最大 30 問程度	最大 1,000
4	子ども・若者(13～18 歳)	最大 30 問程度	最大 1,000
5	若者(19～39 歳)	最大 30 問程度	最大 2,000
合計			最大 8,000

・送付数、個々の配布数は発注者と受注者が協議する。

6 委託業務内容

(1) アンケート調査票の作成

発注者が提示したアンケートの設問をもとに、受注者は調査票(紙)を作成する。調査票のレイアウトについては、事前に発注者の承諾を得ることとする。

※アンケートの設問はすべて発注者で検討するため、受注者が設問内容を検討する業務は生じないが、表現などで気づいた点があれば発注者に助言すること。

※受注者は回答しやすいレイアウト配置について検討すること。

※調査票には、インターネット回答用の案内文、URL、QR コード等を併記し、インターネットからも回答ができることとする。なお、インターネット回答用のフォームについては、発注者にて用意する。

(2) 調査票等の郵送

ア 発注者が作成した名簿(Excel 形式)を元に、宛名及び調査票(調査票の内容は発注者と受注者で協議)、返信用封筒等の送付物を手配する。調査対象者の宛名情報については、発注者が抽出し受注者へ提供する。

イ 上記について、発注者が指定した日において、受注者の料金負担により、受注者が郵便局から発送する。

※上記で必要となる紙、封筒等については、受注者において用意する。

※返信用封筒については、郵送先を受注者とすると共に、受注者の料金負担による料金受取人払いとし、受注者が郵便局より料金受取人払いの承認を得るものとする。

(3) 調査表の回収及び集計

受注者は、インターネット上の回答フォーム及び郵送で回収したアンケートの結果を集計すること。なお、インターネット上の回答フォームにおけるデータについては、発注者より貸与する集計用の ID 等を利用し、適宜ダウンロードすること。

また、集計結果については、回答者の属性をキーとして、クロス集計を行うこと。

(4) 報告書等の作成

データ化したアンケートの回答（Excel 形式）及び報告書一式（ワード形式、PDF 形式）

※グラフを使用した報告書とすること。

(5) 返却物品

回収したアンケート調査表（紙）及び返信用封筒一式

7 納期

(1) 集計結果の中間報告：令和 8 年 3 月 13 日(金)

※単純集計表のみで可

(2) 納品物一式の納品：令和 8 年 3 月 31 日(火)

8 支払い方法

業務の検査検収後、適法な請求書の提出に基づき、受注者の指定口座に振り込む。

9 経過報告

受注者は、調査の進捗状況及び内容分析について発注者から問い合わせがあった場合は、遅滞なく文書（軽易なものは口頭）で報告するものとする。

10 調査予定表

受注者は、契約締結後遅滞なく調査予定表を提出するとともに、その内容を厳守すること。また、予定が変更される場合は、発注者と事前に協議し、その承諾を得ること。

11 環境への配慮

(1) 受注者は、「相模原市環境方針」（別紙）の趣旨を踏まえ、委託業務の遂行において省資源・

省エネルギーに取り組む等、環境への負荷の低減を図るとともに、環境関連法令の規制等を遵守しなければならない。

- (2) 市への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用しなければならない。
- (3) 委託業務において車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他者に運搬等を委託する場合においても、アイドリングストップの実施を周知するよう努めなければならない。
- (4) 委託業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等、関連法令等を遵守し、適正に処理しなければならない。

12 その他

- (1) 本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた事項については、発注者と受注者により協議を行うものとする。
- (2) 発注者は作業場所を提供しない。